

# 令和2年度から令和3年度にかけての 医療費の状況について

# 都道府県単位保険料率の設定のイメージ

都道府県単位保険料率では、年齢構成の高い県ほど医療費が高く、保険料率が高くなる。また、所得水準の低い県ほど、同じ医療費でも保険料率が高くなる。このため、都道府県間で次のような年齢調整・所得調整を行う。

※都道府県単位保険料率になることで、保険料率が大幅に上昇したため、激変緩和措置を講じてきた。

全国一本の保険料率  
(平成20年9月まで)

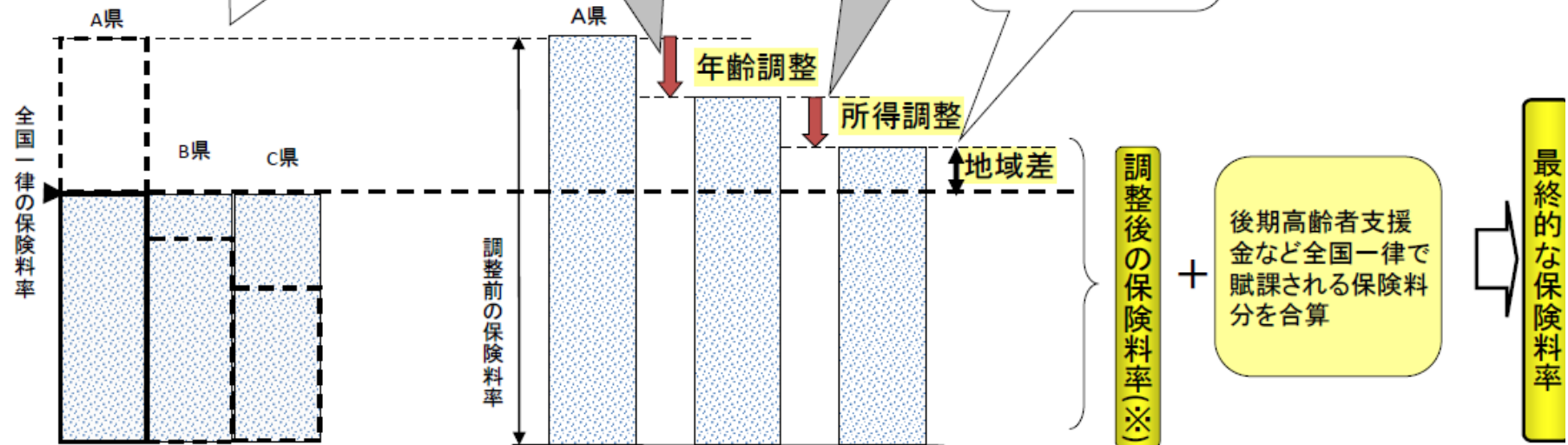
都道府県単位保険料率(平成20年10月から): 年齢構成が高く、所得水準の低いA県の例

都道府県ごとの医療費の水準にかかわらず保険料率は一律

年齢構成を協会の平均とした場合の医療費との差額を調整

所得水準を協会の平均とした場合の保険料収入額との差額を調整

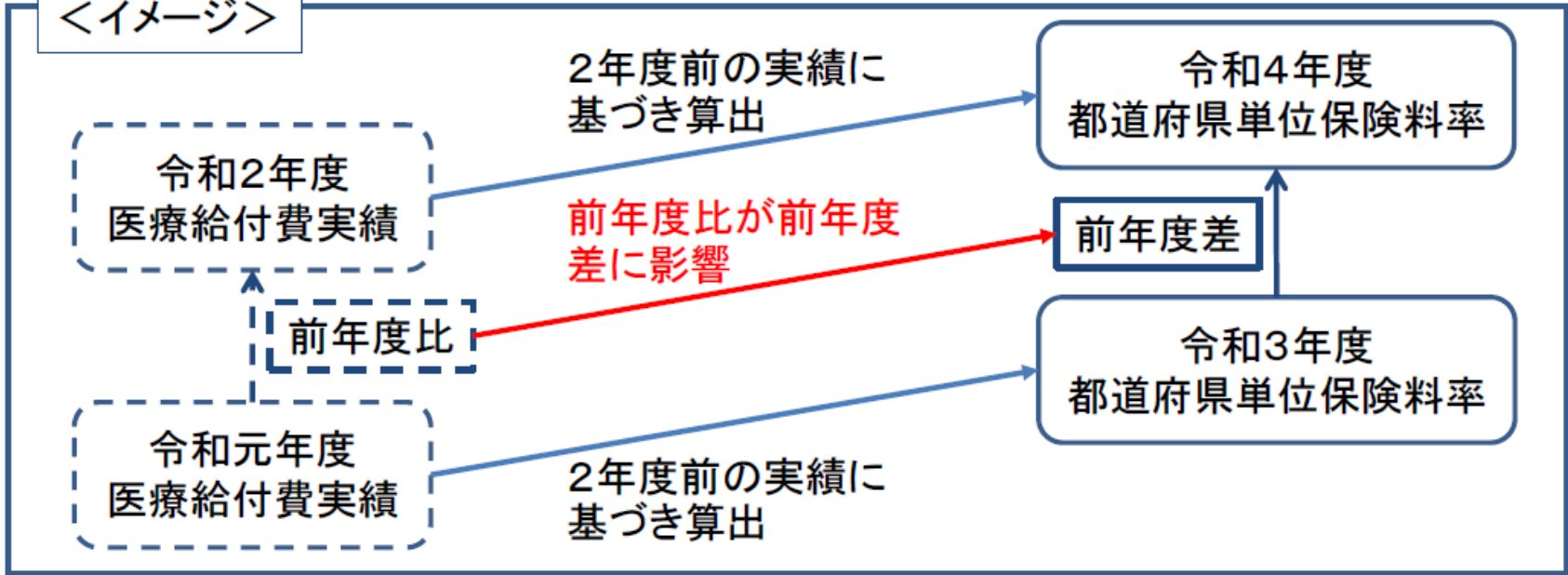
年齢調整・所得調整の結果、都道府県ごとの保険料率は、医療費の地域差を反映した保険料率となる。



(※)災害等特殊事情についても、適切な調整を行う。

# 都道府県単位保険料率と医療給付費との関係

<イメージ>



令和4年度都道府県単位保険料率の変化幅の上位・下位5位(%)

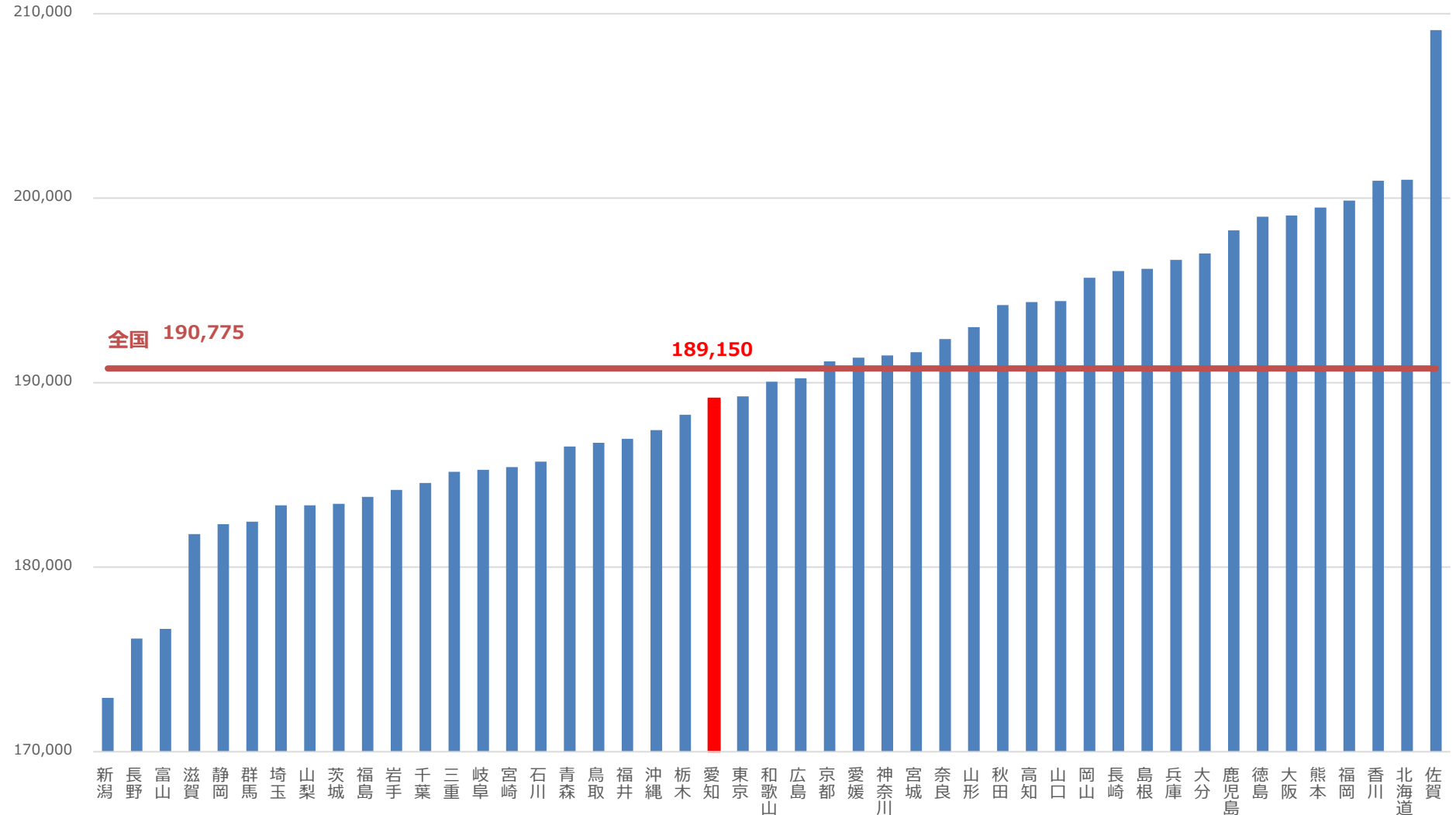
順位	支部名	都道府県単位保険料率
1	島根	10.35 (+0.32)
1	佐賀	11.00 (+0.32)
2	宮崎	10.14 (+0.31)
4	鹿児島	10.65 (+0.29)
5	大分	10.52 (+0.22)
43	京都	9.95 (▲0.11)
43	兵庫	10.13 (▲0.11)
45	山梨	9.66 (▲0.13)
46	神奈川	9.85 (▲0.14)
47	石川	9.89 (▲0.22)

○医療給付費実績そのものの上昇下落にかかわらず、令和2年度の医療給付費実績の前年度比が、全国平均と比べて高ければ(低ければ)、令和4年度の都道府県単位保険料率は、上昇(下落)する傾向にある。

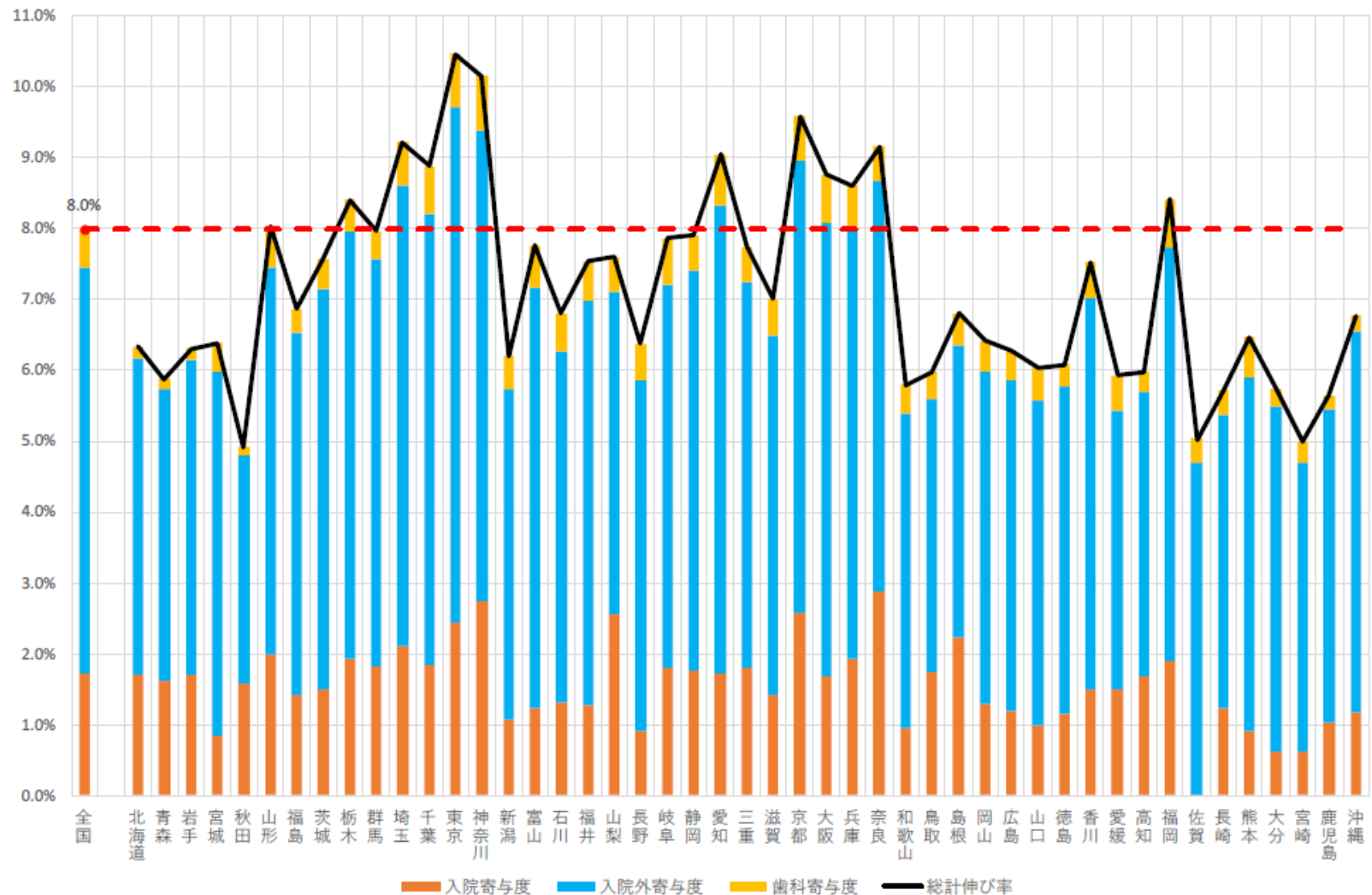
○島根支部や佐賀支部は令和2年度医療給付費実績の前年度比が全国平均と比べて高く、石川支部や神奈川支部は令和2年度医療給付費実績の前年度比が全国平均と比べて低い。

# 協会けんぽの医療費の状況

令和3年度の加入者一人あたり医療費（総計）（年齢調整後）



## (参考2) 診療種別1人当たり医療費の対前年度比の寄与度(令和3年度)



注1. 年度は、4月～3月診療分として集計している。  
 注2. 調剤にかかる医療費については、処方元である入院外・歯科に含めている。

# 協会けんぽの医療費の状況

愛知支部の加入者一人あたり医療費の前年度比（令和3年度／令和2年度）は、全国平均に比べ高い。特に**入院外**の加入者一人あたり医療費の伸びが大きい。

加入者一人あたり医療費の前年度比（令和2年度／令和3年度） (%)

	全体 (入院+外来+歯科)	入院	入院外	歯科
愛知	+9.21	+6.50	+11.2	+5.45
全国	+8.00	+6.05	+9.60	+4.59
差 (愛知-全国)	+1.21	+0.45	+1.57	+0.86

参考： 医療給付費と都道府県単位保険料率との関係

医療給付費の前年度比	都道府県単位保険料率への影響
全国平均と比べて 高い	上昇
全国平均と比べて 低い	下落

# 協会けんぽの医療費の状況

入院外の加入者一人当たり医療費の前年度比（令和3年度／令和2年度）について疾病分類別にみると、新型コロナウイルス感染症にかかる加入者一人あたり医療費の伸び率が高い。

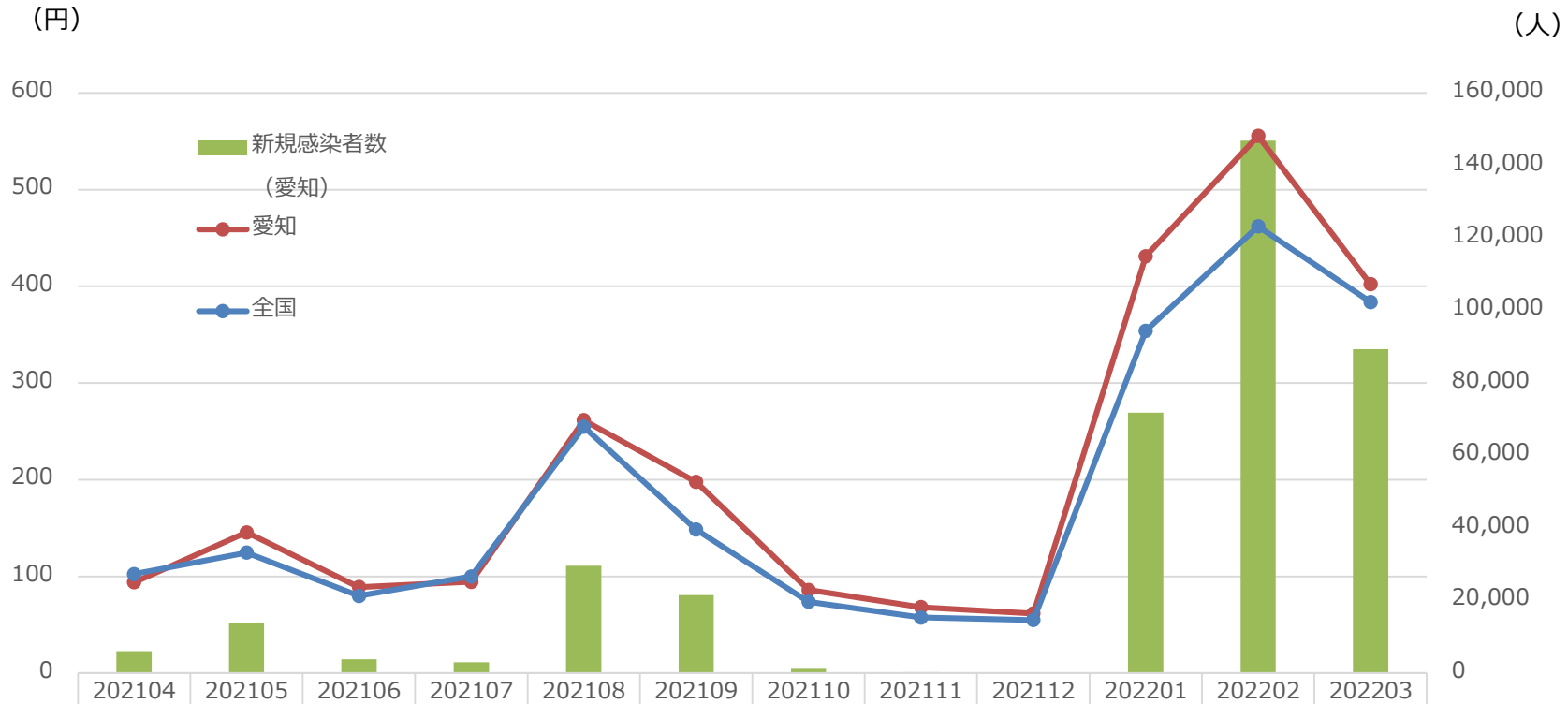
疾病分類ごとに入院外医療費全体に占める割合の高いものから順に並べ、前年度比の伸び率の差（愛知-全国）が+1.0%以上となったものを抽出。

疾病分類	2021年度 入院外医療費全体に 占める割合	前年度比 (愛知)	前年度比の差 (愛知-全国)
その他の皮膚及び皮下組織の疾患	3.2%	+9.3%	+1.4%
腎不全	3.0%	+4.7%	+4.3%
その他の悪性新生物<腫瘍>	2.5%	+14.6%	+3.3%
その他の特殊目的用コード	2.2%	+512.3%	+143.2%
その他の急性上気道感染症	2.2%	+57.2%	+13.7%
その他の内分泌、栄養及び代謝疾患	2.1%	+12.4%	+4.4%
その他の眼及び付属器の疾患	1.8%	+9.6%	+2.7%
乳房の悪性新生物<腫瘍>	1.7%	+10.3%	+3.0%
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	1.4%	+9.6%	+1.5%
その他の心疾患	1.4%	+12.0%	+3.8%
気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	1.3%	+10.2%	+4.7%
急性気管支炎及び急性細気管支炎	1.2%	+72.6%	+15.7%
呼吸器系の疾患をまとめたもの	5.6%	+128.0%	+26.3%

なお、疾病分類別に入院外医療費に占める割合が最も高いものから順に、高血圧性疾患7.4%、糖尿病6.0%、皮膚炎及び湿疹3.5%となっている。

# 協会けんぽの医療費の状況

新型コロナウイルス感染症にかかる**入院外**の加入者一人当たり医療費（円）について、月ごとにみるとほぼ年間を通して全国平均を上回っている。  
特に令和4年1月から2月にかけて差が大きくなっている。

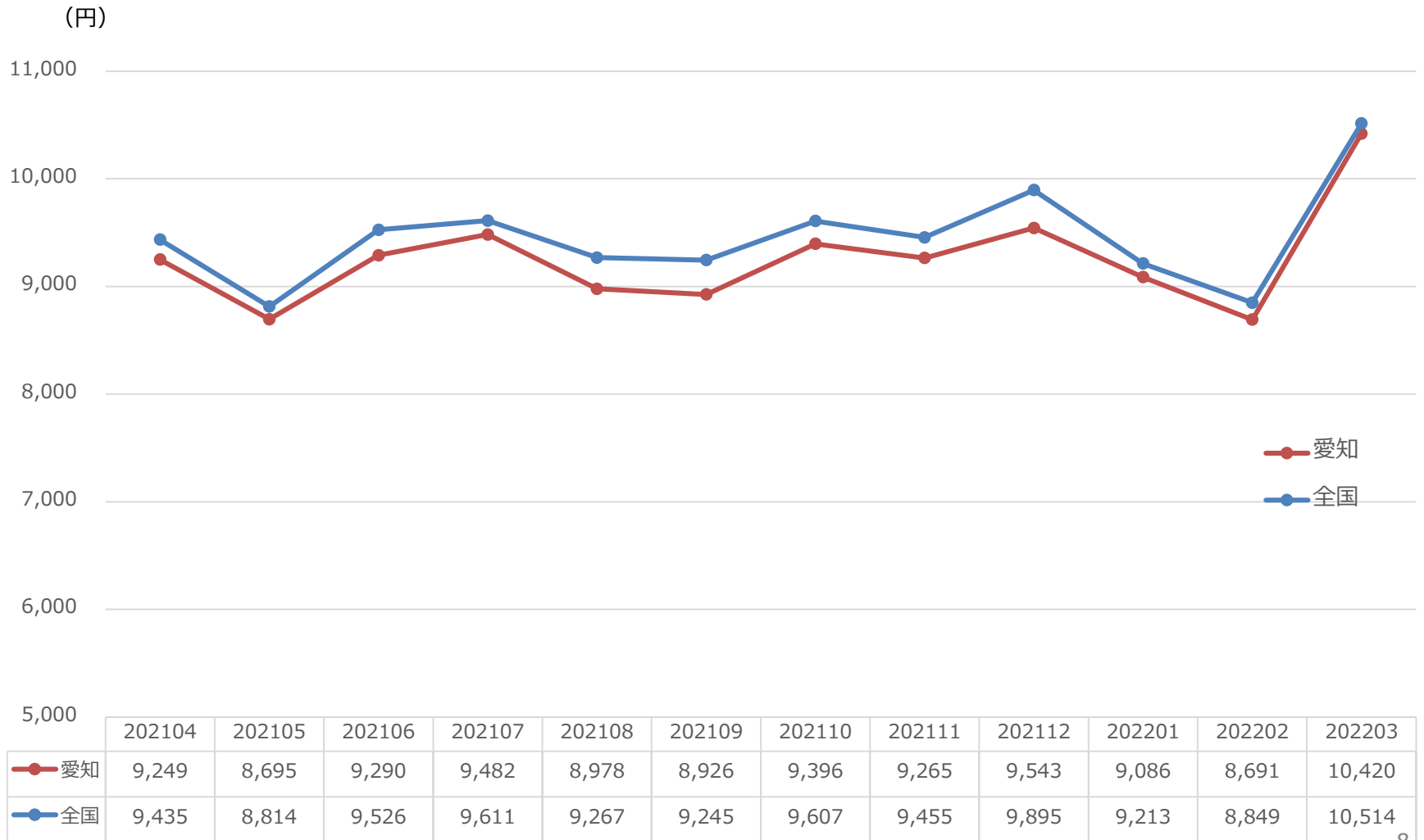


新規感染者数 (愛知)	6,087	13,859	3,805	3,003	29,625	21,501	1,155	255	199	71,846	146,834	89,324
愛知	94	146	89	94	261	198	86	68	62	431	556	402
全国	102	125	80	100	255	149	74	58	55	354	462	384



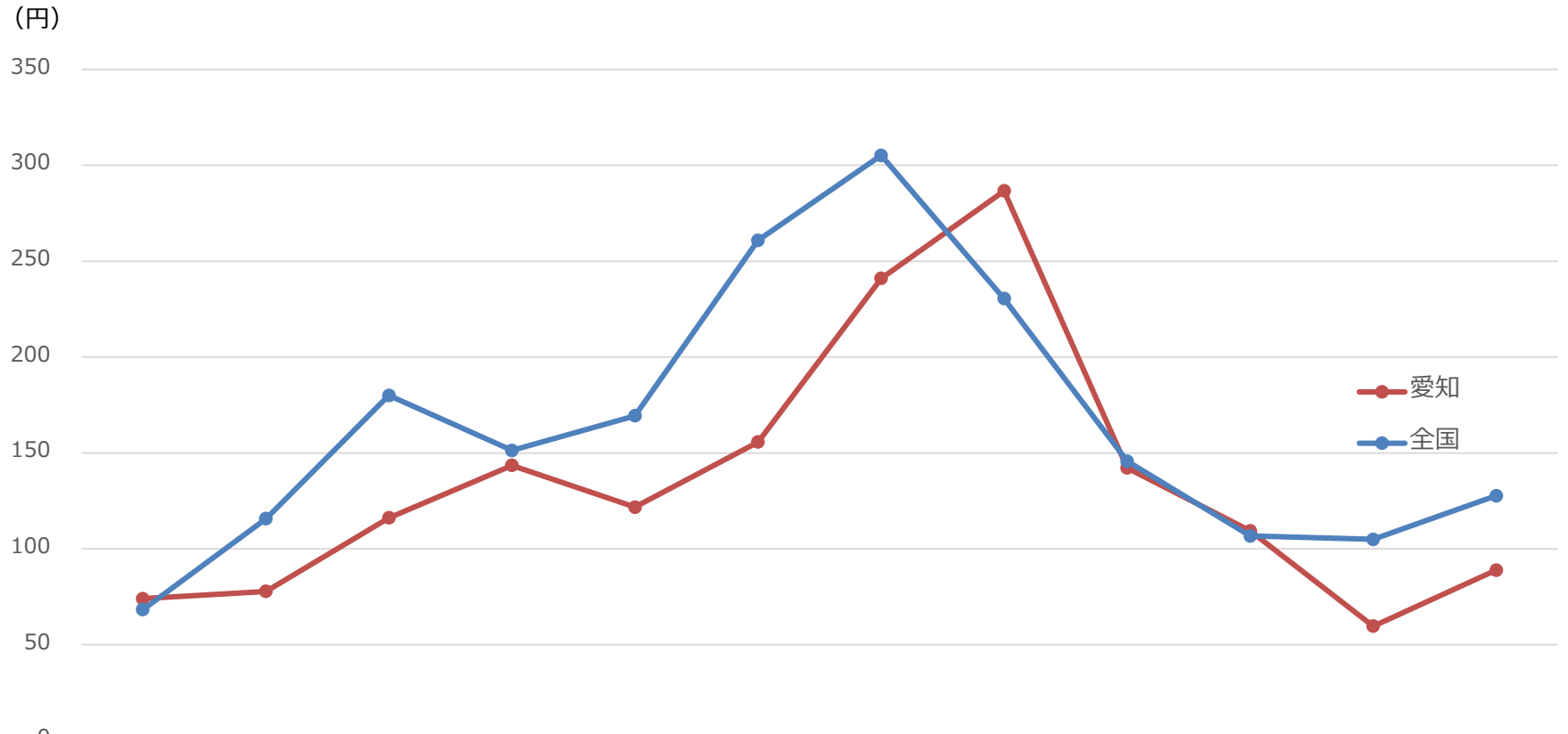
# 協会けんぽの医療費の状況

入院外の加入者一人当たり医療費（円）（新型コロナウイルス感染症を除く）について、月ごとにみると年間を通して全国平均を下回っている。



# 協会けんぽの医療費の状況

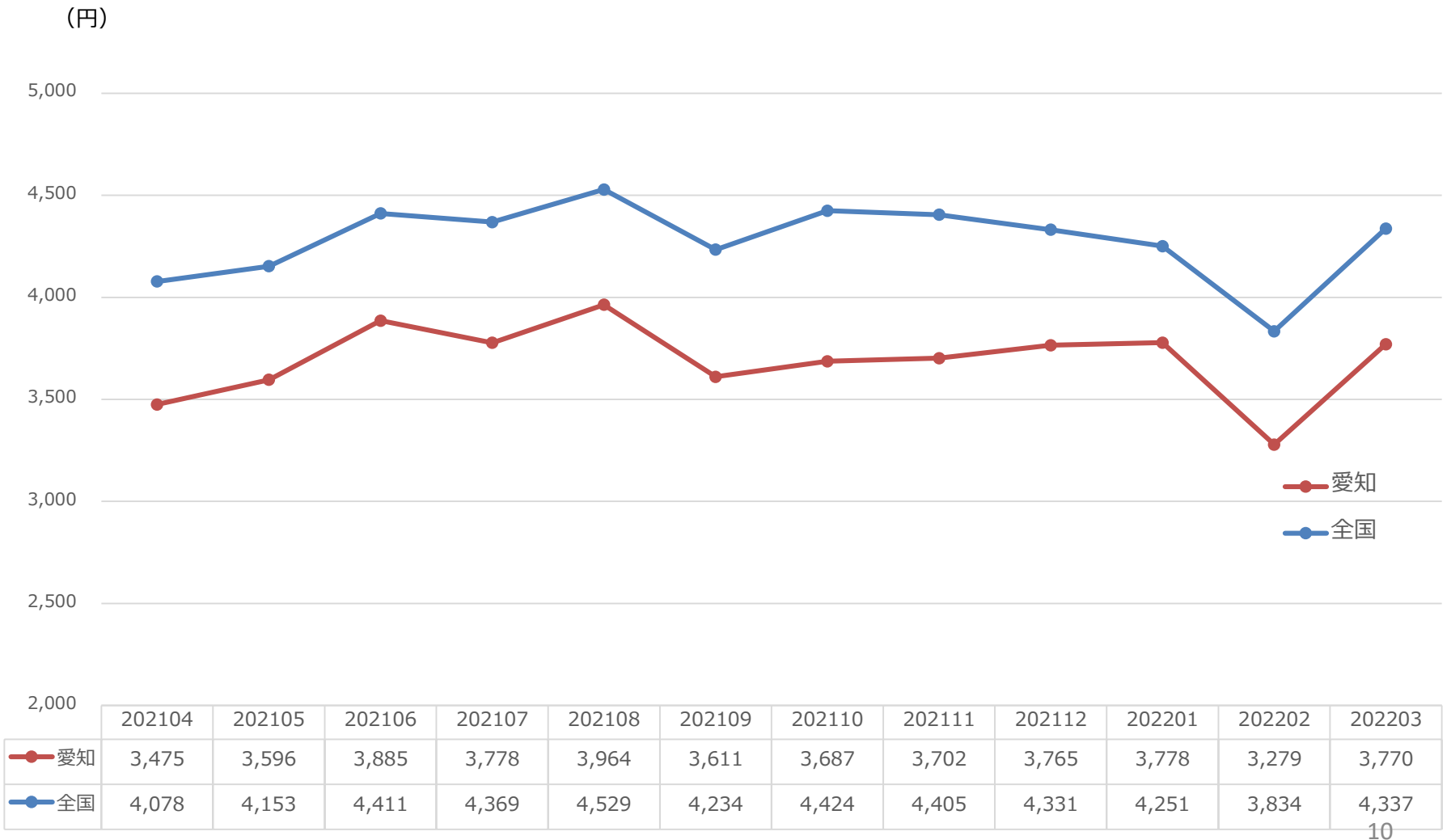
新型コロナウイルス感染症にかかる**入院**の加入者一人当たり医療費（円）について、月ごとにみると令和3年4月、11月、令和4年1月を除き、全国平均を下回っている。



	202104	202105	202106	202107	202108	202109	202110	202111	202112	202201	202202	202203
愛知	74	78	116	143	122	156	241	287	142	109	60	89
全国	68	116	180	151	169	261	305	230	146	107	105	128

# 協会けんぽの医療費の状況

入院の加入者一人当たり医療費（円）（新型コロナウイルス感染症を除く）について、月ごとにみると年間を通して全国平均を下回っている。



## 【注意事項】

- 医療費のデータは、協会けんぽが保有しているレセプトデータを集計した「医療費基本情報」の令和2年4月～令和4年3月診療分をもとに集計したものである。  
本集計では、医科にかかる入院、入院外および歯科を対象とし、調剤については処方元の入院外および歯科に含めている。
  
- 本集計において新型コロナウイルス感染症にかかる医療費とは、「疾病分類コード※」が「2220」（その他の特殊目的用コード）であるレコードを対象として集計したものである。  
※疾病分類コードは、社会保険表章用疾病分類に基づくもの。
  
- 愛知支部の医療費は、事業所所在地が愛知県にあるものを集計したものである。
  
- 傷病ごとの医療費等は各レセプトの主傷病に基づいて集計することとなるため、新型コロナウイルス感染症に罹患して医療機関等を受診したとしても、主傷病が新型コロナウイルス感染症（疾病分類コード2220）となっていないレセプトについては、新型コロナウイルス感染症の医療費等として計上されない。  
また、主傷病が新型コロナウイルス感染症の患者が他の疾病に罹患している場合、当該他疾病にかかる診療行為も新型コロナウイルス感染症の医療費等として計上される。
  
- 新型コロナウイルスの新規感染者数は、厚生労働省 データからわかる「新型コロナウイルス感染症情報」 新規陽性者数の推移（日別）を参考に作成したものである。